



大切な友達

岩田小学校 六年 立野 りりか

世の中では、新型コロナウイルスが流行しています。今は、オミクロン株という感染力が強いウイルスが世界で広がっています。私は、日本でも広がらないか心配です。

小学校最後の夏休みは、友達と会うことが減り、家で過ごすことがほとんどでした。友達と会うことができなくなりとても残念でした。生活する中で、私は友達がとても大切だと感じました。その理由は、三つあります。

一つ目は、友達がいることで、毎日が楽しく元気になれるということです。分らない勉強があったときに教え合ったり、一緒に遊んだりできるからです。

二つ目は、気持ちを楽にし、支え合うことができるということです。私が、具合が悪い時に「大丈夫？」、「保健室にいかなくていい？」と、声をかけて心配してくれることがあります。また、相談にのってくれることもあります。優しい声かけや思いやりのある言葉や行動は

うれしくて自然と温かい気持ちになり勇気づけられます。しかし、言葉は、時には人を傷つけてしまうこともあります。相手の気持ちを考えて話すことが大事だと思います。

私も、温かい声かけをしたり、相談にのったり、行動できる人になり、友達を支えたいと思います。

三つ目は、友達がいるからこそ経験できることがあることです。今年の運動会は、例年になく無観客で時間を短縮して行うことができました。私は、運営委員のメンバーの一人として、運動会について何度も話し合いました。そして、「自分たちで創り上げる運動会」にしよう決めました。私は、はじめ、できるか不安でしたが感染対策もふくめ、アイデアを出し合って競技内容を決めました。六年生を中心に司会・進行をすべて児童が行いました。練習時間もいつもより短く、準備も大変でしたが、友達と声をかけ合って運動会ができた時は、とてもうれしかったです。

達成感があり、友達と創り上げる大切さを学びました。

友達とは、一緒に学び、一緒に反省し、お互いを高め合い、成長していくかけがえのない仲間だと思います。私は、友達を大切にしたいです。また、コロナウイルス感染症拡大の不安がありますが、大切な友達と卒業までの大切な時間を一緒に作っていききたいと思っています。

【先生のコメント】
りりかさんは、運営委員として、運動会の取り組みをはじめ、なかよしフェスティバル、学校を良くする取り組みについて原案をつくりがんばってくれています。月曜日には、毎朝、ろう下に立ってあいさつ運動も欠かさず行っています。自分のことだけを考えるのではなく、みんなのことを考えて関わりあつていくことが大切です。コロナ感染症など予期せぬ事態はあっても、優しい関わりを意識して友達を大切にしていきたいですね。

人権相談(無料)

「ひとりりで悩んでいませんか」

- 【人権何でも相談所】
- 日時 2月16日(水)午後1時～4時
- 場所 あたご苑
- 相談内容 いじめ、体罰、部落差別・男女差別・外国人差別などの差別問題、家庭内(夫婦、親子、結婚、離婚、扶養、相続など)・借地借家・相隣間のもめごと、悩みごとなど
- 【高齢者のための特設人権相談所】
- 日時 2月16日(水)午前10時～午後3時
- 場所 あたご苑
- 相談内容 高齢者の人権に関する相談
- 【女性相談所】
- 日時 2月10日(木)午前10時～午後3時
- 場所 福岡法務局柳川支局
- 相談内容 原則として女性からの相談 ※女性の人権擁護委員が相談に応じます
- 【常設相談】
- 時間 午前8時30分～午後5時15分 (土、日、祝日を除く)
- 場所 福岡法務局柳川支局
- 相談担当者 法務局職員または人権擁護委員
- 相談電話番号 (TEL)0570-003-110
- 福岡法務局柳川支局(TEL)72-2640

みやまに生きる人 vol.130

「Magic-U」 店長 久富 悟さん

学生の頃から洋服の販売に関わる仕事に就きたいと思っていた久富さん。きっかけは、学生時代に没頭していたバスケットボールとのこと。その流れからスニーカーに興味を抱き、服飾の専門学校に通った。「服はだれにとっても身近なものですよね」
こだわりのブランドを扱う
久富さんが店長を務めている瀬高町上庄のセレクトショップ。国産デニムや海外のメーカーにオーダーメイドしているブーツなど、こだわりのアメリカンカジュアルブランドを数多く扱っている。そのようなレアな商品を取り扱って

るのは九州でも数店とのこと。このお店の特徴といえる。
商品との出会いをお手伝い
「その人の魅力を引き出す商品との出会いをお手伝いできるような接客を心掛けています」

そのためにはお客様との信頼関係が大事とのこと。接客の中でヒントを探っていく。「バイヤーとしての仕事は日々勉強。常に変化するニーズに対応していかないとけない。お客様のことを考える時間が一番大切だと思えます」
購入した商品を着てお店に来てくれたり、「よかった」とほめてもらえると、とても嬉しいと語る。「この仕事のやりがいです」
これからも魅力とこだわりの提供したい
お店は創業50年の歴史を誇る。
今後の抱負を尋ねると、「SNSを活用して、お店や商品を知っていただき、魅力ある商品を提供していきたいです。」と語る久富さん。

これからのこのお店の商品は、たくさん人の笑顔を作り出していくことだろう。



ひさどみ さとる
趣味はバイクでツーリング。
【座右の銘】
継続は力なり
【みやまにひとこと】
何度も訪れていただけるような魅力溢れたまちになるよう願っております。

みやま文芸

真清水句会

- 立春のはなむけなりし蒼い空 平井 和子
- さみどりの菜の花漬けの旨さかな 宮地 末子
- 春風や吹き払ってよコロナ菌 森田 蓉子
- 春スキー光まぶしく風をきる 梅野 博山
- 東へ一筋春の飛行雲 紙田 幻草
- 早朝の道路横切る狐かな 樺島美代子
- 清水句会 綿貫 惇
- 孫達の目標確と初電話 綿貫 惇
- 通院が日常となり年惜む 田尻カツ子
- 若菜摘む玉の日差しに誘はれ 綿貫 淑子
- 冬晴の霊山のなほ神神し 古賀 麗子
- 初詣 一步一步に念ひこめ 岩屋 清美
- 金鼓の音響く御山の淑気かな 壇 篤子
- おみくじの数多結ばれ初詣 猿渡 洋子

※俳句・短歌は市内の団体から提供いただいたものを順次掲載しています。

